

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

学校名	佐賀県立致遠館高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標に基づいた本年度の重点目標は概ね達成できたが、生徒の主体的な学習への取組や職員の働き方改革には課題が残った。 令和4年度からスタートした新学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」の実践へ向けて、さらに授業改善・指導力向上を図る。 第4期のSSH事業の2年目に当たり、これまでの取り組みを深化させ、探究活動（普通科）、課題研究活動（理数科）の充実を図る。
2 学校教育目標	未来社会の文化の創造と発展に力をつくす、豊かな人間性と進取の気性に富む若人を育てる。
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」いわゆる知・徳・体の調和のとれた人材の育成 ② 「生きる力」つまり自分で考え適切に判断して行動できる力の醸成 ③ 生徒が主体的に設定した進路目標の実現 ④ 教職員にとって働きやすくやりがいを感じる職場づくり

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○自発的学習習慣の定着と宅習の充実	○進路希望の確定率90%以上 ○家庭学習時間3時間以上 ○3点固定(起床・就寝・学習開始時間)の確立	・目標設定に係るアンケートの実施 ・Classiで家庭学習時間を把握した適切な指導 ・学習指導をとおして、予習→授業→復習のサイクルの確立
	○基礎学力の向上と応用力の向上	○授業をとおして学力が向上したと感じる生徒90%以上	・基礎学力の定着を図るため、小テストや定期考査に向けての計画的な学習指導の実施 ・授業アンケートで生徒の学習意識を把握・分析 ・展開授業や少人数授業で個々に応じた指導の充実 ・定期考査前学習会の実施
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学年や個人でのボランティア活動への参加率100% ○図書室の貸出冊数を一人10冊以上	・読書啓発活動の実施 ・主権者教育講演会で、社会を構成する一員であるという意識の醸成 ・日々の交通指導、挨拶指導、清掃活動等で公共心を養う
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員95%以上 ○アンケートを活用し、いじめを許さない雰囲気づくりと意識の向上を図る	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直し ・定期的ないじめアンケートの実施で実態把握と早期対応 ・問題発生時の迅速な対策委員会の開催及び組織的対応と関係機関との連携 ・全校集会やHR等で、いじめ防止の啓発活動の徹底
	○人権・同和教育の推進	○人権・同和教育に対して主体的に理解しようとする生徒、教職員を100%とし、問題に対する意識向上を図る	・人権・同和教育に係るホームルーム活動を学年ごとにテーマを設定して実施 ・教職員及び生徒対象の人権・同和教育に係る講演会実施
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○朝食喫食率を95%以上 ●「健康に良い食事をしている」生徒を95%以上 ○受験期における飲食物摂取の過多・過少に気を配り、自ら食生活を管理できる態度を養う	・保健だよりを活用して朝食の重要性の周知と生徒の意識の向上 ・個々の生徒について、職員間での情報交換と必要に応じた相談・支援の実施
	○部活動(社会体育を含む)や課外活動への意欲的な参加	○部活動(社会体育を含む)への加入率を90%以上 ○部活動計画に基づく休養日の実施率を100%	・部活動体験入部期間を設け、部活動加入の促進 ・ボランティア等の課外活動への参加推進 ・年間部活動計画を策定し、保護者や生徒へHP等を通じて周知 ・部活動休養日の計画的な設定
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・定時退勤日及び学校閉庁日の設定 ・業務記録を毎週確認して職員の間時間外在校等時間の自己管理の徹底 ・会議や行事の縮減と業務の効率化 ・年間計画に基づいた部活動指導と適切な休養日設定
	○教職員間の信頼・連携の強化と働きやすい職場づくり	○「働きやすい職場である」と考える職員を90%以上	・職員アンケート(年1回)の実施 ・月1回のゼロの日を設定し、教育公務員としての自覚の再確認 ・校内での職員の相談体制の周知徹底 ・衛生委員会の充実

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○教育の質の向上	○主体的な学びを重視した授業の推進 ○ICT利活用教育の推進 ○大学入試を見据えた指導の充実	○意欲的、主体的に生徒が取り組めるよう授業改善を進めた教員95%以上 ○ICT利活用教育に取り組んだ教員90%以上 ○大学入試を見据えた効果的な授業のあり方を各教科で研究協議し、指導力を高める	・毎月1回公開授業の実施で指導力の向上 ・ICTを活用した授業の実施 ・入試問題の分析に基づいた校内テストの作問 ・生徒による授業評価の結果に基づいた授業改善
★◎志を高める教育	★SSH事業の活用 ◎主体的に行動する姿勢と自律心の養成	○自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上 ○課題研究・探究活動で主体的に学んだ生徒を80%以上	・魅力ある教育プログラムとして、SSH事業を充実させ、内外へ発信 ・HP等を活用した、学校の魅力の積極的な発信 ・「試行錯誤から学ぶ力」や「協働的に取り組む姿勢」の育成指導法の開発
★普通科教育の充実 ★理数科教育の充実	★国際的な視野と高いコミュニケーション能力の育成 ★科学技術の発展や情報化社会に寄与できる人材の育成	○自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上にする ○英語の外部検定試験を受験する生徒100%、3年次の英検2級取得率80%以上 ○ICTを活用し、自らの考えをまとめ、プレゼンテーションできる生徒を100%	・学校パンフやHP等を活用した学校の魅力を積極的に発信 ・全職員の共通理解のもと、主体的な学びや学問の深さについて啓発 ・普通科1年生と2年生で探究活動発表会の実施 ・理数科2年生で課題研究で中間発表会及び発表会の実施

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり(高等学校のみ)